

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	きたかみ牛ブランド強化事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050200 - 110	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	01 農業の生産性向上		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上市の肉用牛、乳用牛の資質の向上を図り、生産基盤の拡充・強化を図るため、優良な繁殖用雌牛の購入又は自家保留を行った農家に対し、補助金を交付する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	優良素牛導入保留事業費補助金	農家	”きたかみ牛ブランド強化事業費補助金”に統合	”きたかみ牛ブランド強化事業費補助金”に統合
02	きたかみ牛ブランド強化事業費補助金	農家	・優良素牛導入保留事業費補助金 40,000円×60頭 ・きたかみ牛生産奨励金 出荷規模に応じた基本割と出荷頭数に応じた頭数割で農家を支援	・優良素牛導入保留事業費補助金 60頭(肉用牛50頭、乳用牛10頭) ・きたかみ牛生産奨励金 330頭(～30頭:11戸、30～60頭:1戸、60頭～:2戸)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	2,402	2,401	2,407	5,136	
人件費	382	80	894	1,952	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,784	2,481	3,301	7,088	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

指標 コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	優良繁殖牛の導入・保留	60頭	60頭	60頭	60頭	
02	きたかみ牛の出荷頭数				330頭	
03	繁殖牛及び乳用牛の飼養頭数	不明	不明	不明		繁殖牛＋乳牛

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 畜産振興を図り、きたかみ牛のブランド化の構築に向けて、事業を実施することができた。	問題点・課題等 畜産農家の減少が避けられないなかで、農家の大規模化や一貫経営を支援していかなければならない。	
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する	
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい	
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)			■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ II. 継続 ☐ III. 縮小 ☐ IV. 廃止・休止 ☐ V. 完了